

令和2年度 第2回日立市行財政改革推進会議について

1 日 時 令和2年10月26日(月) 午前10時から午前11時30分まで

2 場 所 日立市役所 多目的ホール

3 出席者

(1) 委員

平田委員長、石川副委員長、稲川委員、皆川委員、小峰委員、栗原委員、渡邊委員
加古委員、鈴木委員

(2) 事務局

(総務) 渡邊部長、川崎企画員

(行) 相川課長、大貫課長(兼) ICT推進室長、鈴木課長補佐、新嶋係長

4 会議内容

議題 行財政改革大綱(第8次計画)の令和2年度上期進捗状況について

【事務局】 — 総括部分(P1～P9)を資料に基づき説明 —

発言者	発言内容等
第8次計画全体について	
委員長	前回第7次計画のまとめの報告を受けた際に、第8次計画の話も一部したと思う。今後は、前回の議事録も添付してもらえると、同じ話を重複しなくて済む。
事務局	前は、第8次計画でコロナウイルス感染症に対して取り組んだ事項について、次回以降の会議で報告したいと説明した。 コロナウイルス感染症に対する取組としては、国の動きを視野に入れながら、デジタル化・オンライン化を見据えた行財政改革の取組も推進する必要があると考えている。
委員長	第8次計画は、コロナウイルス感染症が始まる前に策定したので、その当時の指標のまま今後も計画を進めていくのは、難しい項目もあると思う。 来年5月に1年間の報告をする際は、今年状況を踏まえて、計画指標の見直し等も含めて検討する必要があると思う。第8次計画の指標等は変更の余地がある前提で議論をしてもらいたい。

発言者	発言内容等
行財政改革全般について	
委員長	<p>日立市は行財政改革を始めてから30年近く経過していると聞いているので、30年の重みがある反面、惰性でずっと行っているという危惧がある。</p> <p>行革が始まった時の大きな目的が、財政改革「行政コスト」を削減するというネガティブな印象を受ける目的であれば、その結果何が残ったのかと考えさせられる。次の30年、もしくは10年を見据えて、この会議の存在意義を考えると、行財政改革とうたっているが、財政施策が少なく、コスト削減施策しかない印象を受けるので、もう少し都市政策的に税収を増やす試みを検討するなどしたほうが良いと思う。</p> <p>税収が増えるということは、市民が幸せになった結果という見方もできると思う。今後については、ポジティブで大きな目標を立て、その目標に向かって各担当課が前向きに取り組むことにより、市の行政が良い方向に動いていると実感が持てると思う。発想の転換が必要だと考える。</p>
「No.45 放課後子ども教室と放課後児童クラブの連携促進」	
委員	<p>計画より進んでいるとなっているが、放課後子ども教室の開設については進んでいるのか？女性活躍が推進されているなか、放課後子ども教室の需要はあると思うので、放課後子ども教室を早く全学校に拡大してほしい。</p>
事務局	<p>組織の話になってしまうが、子育て支援課で行っていた「児童クラブ」に関する事務を、生涯学習課に移管することについては、来年度からを予定していたが、前倒しして7月に実施したため「計画より進んでいる」と報告したものだ。</p> <p>放課後子ども教室の拡大、放課後児童クラブとの連携等については、今後、試行・検証して進めていくところである。</p>
委員長	<p>課題に「一体的運営の試行・検証が難しい状況にある」と記載されている。この表現だと、せつかく、計画を練り上げて組織を整えているのに、今後については疑問符を持つことになる。コロナの影響で試行・検証が難しいのかもしれないが、課題の理由を明確にしたほうが分かりやすい。</p>
「No.62 市報配布の在り方の検討と見直し」	
委員	<p>①令和2年度の市報配布率の推進指標(70%)が、令和元年度の実績(73.3%)より低いのはなぜか？</p> <p>②市報の配布方法について「業者ポスティング方式」と「単会配布方式」のいずれかをコミュニティ単会に選択させるとのことだが、コミュニティの財政状況に余裕があるところは業者に依頼し、お金の余裕がないコミュニティは、自分達で配布するかどうかを決めるということか？</p>
事務局	<p>①について、第8次計画の大綱は令和元年度中に作成しているため、推進事項によっては、令和元年度の数字が確定しておらず、平成30年度の数値を参考に指標を決めている。</p>
副委員長	<p>②について、現在町内会が市報を配布しており、市が委託金を支払っている。委託金がコミュニティの収入となっているため、現在の体制を続けたいというコミュニティもあれば、町内会が解散してしまい、現状の体制を続けるのは難しいというコミュニティもあるので、市報の配布方法を選択制にする予定と聞いている。</p>

発 言 者	発言内容等
「No.63 コミュニティとの連携・協働による防犯対策の推進」	
副委員長	防犯灯のLED化の促進と記載されているが、促進はほぼ終わっているはず。防犯灯の費用は町内会が負担している。維持費の負担について、町内会に入っている人と入っていない人で、不公平間があると感じている。
事務局	LED化率は約93%であり、残りは企業所有や所有者不明の防犯灯などである。今後も防犯灯のLED化を100%に近づけるように、所有者調査を進めていく。防犯灯の電気代については、町内会に入っている人だけの負担の問題や、そもそも道路は不特定多数の人が使用するの、設置している町内会の負担のみでよいのかという問題もある。第7次計画から継続している項目のため、今後は「①市が防犯灯の寄付を受けて管理する②市が電気代を補助する」のいずれかを軸に、なるべく早く回答を出せるようにしたい。
「No.1 職員の更なる能力向上の推進」	
委 員	研修受講回数の実績が0.81回と表記されているが、この回数は、オンラインでの研修も含んだ数字か？入っていなければ、加えても良いと思う。
事務局	オンラインや動画などの研修も含めた回数である。 4月～6月までの研修は全て延期になった状況であり、外部講師とのオンライン研修は、8月から始まったので、回数が少なくなってしまった。
委員長	オンラインであれば、ワークショップやディスカッションなどの研修もできるので、年度終わりの報告の際は、年間指標を上回るぐらい新しい方法での研修を進めてほしい。
「No.59 新学習指導要領への円滑な対応に向けた取組」	
副委員長	小・中学校の児童・生徒1人1台パソコンを整備すると聞いているが、いつから配布が始まるのか？
事務局	約1万台を整備する必要があるため、10月から順次学校単位で配布する予定である。
「No.25 学校再編の推進」	
委 員	小学校がなくなった後の跡地利用について、オープンハウスで質問し「未定」と回答を受けたが、市の基本方針があったほうが望ましいと思う。
副委員長	学校再編検討委員会の委員になっている。 委員会では、学校再編を優先的に進めているため、跡地については未定である。現在学校単位の町内会を新しい学区にするのか、旧学区のまま継続するのかなど、様々な意見があるが、「学校の望ましい姿」を優先して進めている。
委員長	学校再編の跡地については、都市政策と絡めて議論できれば望ましい。

発 言 者	発 言 内 容 等
「B：計画より遅れている推進事項」について	
委 員	Bの項目について、重要な点や難易度を上げてもらえると分かりやすい。重要な点の例として、「No.1 職員の更なる能力向上の推進」では、研修の回数だけでなく「職員のあるべき姿がどこにあるのか。自分たちは今どこにいるのか。差はどこにあるのか」などを深めた上で、研修を受けることが重要であると思う。難易度は、例えば「No.31 公用車へのドライブレコーダーの設置」については、題目だけ見ると簡単な事項に感じる。
事 務 局	第7次計画までは、数値目標を掲げていたが、第8次計画からは、数値に捉われず質的な推進を目指していく中で、成果をどのように報告するかが課題である。推進会議で皆さんの意見をいただきながら、3年後の成果報告の方法を形付けしていきたい。
①「No.5 柔軟は働き方に向けた取組」②推進事項の報告全体について	
委 員	①新しい働き方については、行政のほうが進んでいるイメージがある。行政が先行して行っている取組について、メリットや改善点など勤労者に活用できる情報を提供してもらいたい。 ②他自治体でも取り組んでいる推進項目については、他自治体と比較して数値を表記したほうが、成果が分かりやすい。
副委員長	②に関しては、全国的に取り組んでいるものなのか、市独自のものなのかを表記したほうが、分かりやすい。
事 務 局	他市町村との比較についての視点も取り入れて、分かりやすい成果報告にしていきたい。
「No.18 公共施設トイレの利用環境の向上」	
委 員	トイレのおむつ交換の場所は赤ちゃん用になっていて、狭い環境にある。大人でも紙おむつを取り替えることができる広いトイレを設置するようにお願いしたい。
事 務 局	担当課に上記の意見を伝える。
「No.36 日立駅前のにぎわいづくりの推進」	
委 員	子どもがいるので「ハレニコ！」のイベントや「市民プール」の水泳教室に申し込んだが、人数制限があるため外れてしまった。回数を増やすなどして、多くの市民が参加できるようにしてもらいたい。
事 務 局	コロナウイルス感染症の状況を見ながら、参加人数を緩和するか、回数を増やすかなどを見極めて対応していくことになると思うが、委員からの御意見を担当課に伝えたい。

【全体を通して】 委員長から

- ・ 83%以上の事業が「計画どおり又は計画より進んでいる」であり、全体の状況は順調だと思う。
- ・ また、一部コロナの影響で遅れている項目があることは理解した。
- ・ 来年5月に1年間の報告をする際は、今年状況を踏まえて、残り2年の計画指標の見直しがあれば検討し、変更案を報告していただきたい。

今後のスケジュール

【事務局】

本日いただいた意見を踏まえて、市長以下各部長で構成する行財政改革推進本部会議で協議した後、市議会へも報告して意見をいただく。

以 上